



博士後期課程で養成する人材像

TMGH修士課程では、「コースワーク」型のカリキュラムを主体とする教育課程を編成しており、グローバルヘルス領域における課題を解決するために必須となる基礎的な知識及び研究能力を修得させてきた。よって、研究（特に国際的な協働研究やプログラム）への参加経験は導入レベルであったが、TMGH博士後期課程では、「リサーチワーク」型のコースデザインにより、さらに高い次元でグローバルヘルスを理論的・実践的に研究・創造する能力を備えた実践的・社会的リーダーの養成をするため、本格的な国際共同研究や国際共同プログラムへの参加が可能となる教育課程を構築する。博士後期課程で養成する人材像は以下のとおりである。

- ① **グローバルヘルス全体を俯瞰する能力と知識**を有する者
- ② **国際共同研究や国際共同プログラムへの参加経験**を有し、当該共同研究等において**主導して研究・活動する能力**を有する者
- ③ 成果を公表して、**グローバルヘルス領域の科学研究を推進する能力**を有する者
- ④ 科学的知見に基づき、**実践においてもインパクトを与えられる能力**を有する者

・グローバルヘルス分野において、**研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な業務に従事するに必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識を備えた人材**であり、国際的環境の中で、グローバルヘルス分野における**国際共同研究・実践プロジェクトを推進できる能力**を有した人材。

・当該領域における**実務の推進、研究によるエビデンスの創出又はエビデンスに基づいた意思決定などができる組織リーダー**となる人材が不足している。

具体的には・・・

- ① 国際プロジェクトにおける**研究員**。国際研究プロジェクトでの研究成果を創出。
例えば、LSHTMが複数の大学と共同で推進するワクチントライアルなど感染症対策介入プロジェクトの**プロジェクトマネージャー**
- ② 国際プロジェクトにおける**高度専門家**。国際実践プロジェクトの推進を担当。
例えば、日英が共同で推進する第3国におけるUHC推進介入プロジェクトの**プロジェクトマネージャー**
- ③ 上記、①、②にかかわるような、**国際機関、国内機関（JICA等）、研究所、大学、企業、国際コンサル会社、国際NPO**。
以上は、国内のみならず、海外の企業、NPO、大学などを想定。

リーダーに必要な能力

- ① 学際的かつ多国籍な人員で構築されるプロジェクトの遂行に必要な、幅広い知識と高い語学力（英語）による**コミュニケーション能力**
- ② 定められた期間及び予算の中で**目的を達成するために必要な行動計画を策定し、その内容をプロジェクト構成員に説明、同調させる能力**
- ③ 予期しない状況及び不確実性に**耐え、当該状況下でプロジェクトに必要な意思決定（取捨選択）**をできる能力

国際連携専攻

人材養成像

グローバルヘルス領域におけるTMGHとLSHTMの共同研究・プロジェクトの推進及び両大学の更なる連携強化を推進する人材の養成を目的としている。国際連携専攻における修了生は、将来的に日英が共同で推進する第3国での研究プロジェクトや実践プロジェクトの**リーダー**として推進する能力に加え、日英のみならず、日本と欧米先進国や国際機関との連携強化を通じて**グローバルヘルスを推進することができる能力**を持った者となる。

TMGH及びLSHTMの教員・研究者や国際機関、国内機関（JICA等）、国際NPOが実施する国際プロジェクトのリーダーを想定

